

～べてるの家から実践報告～

精神障がいなどを経験する当事者の方々と共にユーモアな取り組みをしている北海道浦河のべてるの家の向谷地氏とメンバーをお招きし、当事者研究についてお話をしていただけることとなりました。当事者研究は、統合失調症など様々な障がいを持ちながら地域で暮らす当事者の活動の中から生まれた「自助－自分を助ける」プログラムです。この機会に当事

講師：向谷地 生良 氏 & べてるの家メンバー

<講師プロフィール> 向谷地 生良氏

北海道医療大学看護福祉学部教授。社会福祉法人浦河べてるの家理事。1984年に精神障がいを体験した当事者や有志と共に「浦河べてるの家」を北海道浦河町に設立。「弱さを絆に」「苦労を取り戻す」「三度の飯よりミーティング」などユーモアのある理念を掲げ、SSTや当事者研究を実践。多岐にわたって活躍中。

- 日 時：平成23年11月18日（金）午後6時30分～8時30分（受付6時）
- 会 場：沖縄県立博物館・美術館 講堂（TEL098-941-8200）
- 参加費：一般 2,000 円
当事者 500 円 *当日障害者手帳提示して下さい
- 定 員：200名（定員に達し次第締め切ります）

主催：有限会社 沖縄MCS（医療・介護サポート）

共催：NPO法人 ワークセンターほほ笑み・福祉サービス事業所フロンティア

※懇親会のお知らせ※

会終了後、親睦会を「ばいかじ上之屋店」で予定しています。定員は30人で参加費3,000円です。参加ご希望の方は事前にお申し込みください。定員に達し次第締め切りとさせていただきます

お問い合わせ先：有限会社 沖縄MCS TEL 098-834-9674

FAX:098-834-9700

このままご送信ください

～参加申込書～

施設名			
住所	〒		
電話		FAX	
申込責任者		参加人数	名

